

2024年11月

朝日ライフ アセットマネジメント株式会社  
Asahi Life Asset Management Co.,Ltd.

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第301号

加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

## 社会貢献活動を行う団体への寄付につきまして

～公募投信「朝日ライフ SRI 社会貢献ファンド（愛称：あすのはね）」の寄付のお知らせ～

「あすのはね」では、2000年9月のファンド設定以来、毎年、地域社会への貢献を目的として、信託報酬の一部を、社会的課題の解決やSDGs（持続可能な開発目標）の達成に取り組む団体へ寄付しております。今年で24回目の寄付となり、10月23日に以下の7団体へ寄付いたしました。

今後も皆様のご期待に応えるようパフォーマンスの向上等に全力で取り組んで行くとともに、社会的課題の解決やSDGsの達成への貢献に努めてまいります。

引き続き、ご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

（五十音順）

海を通じて、自然との共存を学び、確立します



特定非営利活動法人 OWS

OWSは1998年に設立した海の環境NPO法人です。海をとりまく自然とそこにすむ生き物を通して、「自然に親しむ・自然を学ぶ・自然の大切さを伝える」活動を推進しています。

現在、主に次の4プロジェクトに取り組み、さまざまな連携や協働を創出し、成果を得ています。

◆海の子プロジェクト：海離れ、自然離れが著しい現在、自然体験学習を通して子どもたちに海の自然や生き物とのふれあいの機会を創出しています。これまで3,200名以上の子どもたちが参加しています。

◆サンゴ調査プロジェクト：研究者との連携による温暖化の影響評価のためのサンゴおよび魚類のモニタリング調査等を全国10海域以上で実施しています。

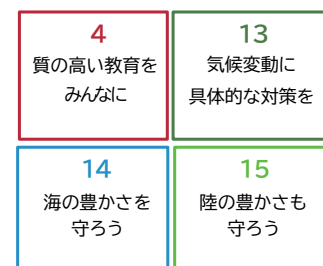
◆海洋ごみプロジェクト：学校等への教材提供、講演、写真資料展、ごみ回収活動等、毎年5,000人以上を対象目標とする海洋ごみ削減の普及啓発を実施しています。

◆干潟保全プロジェクト：研究者、地元住民等多様な主体と連携・協力して行う干潟環境の保全活動です。紀伊半島、三浦半島を中心に黒潮流域の各干潟での調査も実施しています。



（左）代表理事 横山 耕作 様

《SDGs 目標》





## 認定特定非営利活動法人 キッズドア

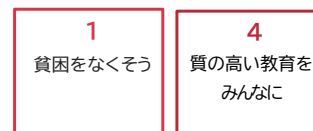
認定NPO法人キッズドアでは、2007年の設立以来「日本の子どもの貧困」、「ひとり親家庭支援」に取り組んでいます。生まれてきた環境や災害等によって、子どもたちの将来の夢や希望に不平等が生じる社会はおかしい、困難な状況にある子どもたちにもフェアなチャンスのある社会を作りたいという想いで活動しています。

キッズドアが支援する子どもたちは、ご家庭の収入が厳しいため十分な教育を受けられず、進学や就職において不利な状況にあります。このため、子どもたちが親世代になったときにも、この状況は連鎖してしまいます。この「連鎖」を断ち切るために、東京・宮城を中心に無料の学習支援や居場所を提供し、2023年度は約2,000人の小学生から高校生が通いました。この活動には、約1,000人以上の市民ボランティアの皆さんに関わっていただき、継続的に活動することができています。



(左) 執行役員 松見 幸太郎 様

《SDGs 目標》



## 社会福祉法人 子どもの虐待防止センター

社会福祉法人子どもの虐待防止センター（CCAP）は、1991年から主に家庭内で起こる子どもの虐待防止のために活動する社会福祉法人です（社会福祉法人認可は1997年）。

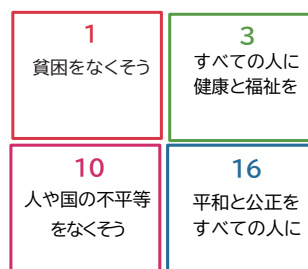
虐待によるトラウマは子どもの人生に大きく影響します。同時に親も困難を抱えて苦しんでいることも多く、親を責めるだけでは問題は解決しません。そのため団体設立時より子どもを虐待から守るためには家族へのサポートが重要である認識のもと、子育てに悩む親を対象とした電話相談、母親グループ「MCG（母と子の関係を考える会）」や当法人の2つの独自プログラムである「CCAP版 親と子の関係を育てるペアレンティングプログラム®」、「アタッチメント形成のための心理療法プログラム」を行っています。

その他にも里親・養親支援事業や研修も行い、2019年には公益事業として医療部門も開設しました。民間の相談窓口として多くの方にご利用頂くとともに、活動を通して家族への温かい支援の必要性を社会に発信しています。



(左) 常務理事 片倉 昭子 様

《SDGs 目標》





認定NPO法人

**自然環境復元協会**

Association for Nature Restoration and Conservation, Japan

認定特定非営利活動法人

自然環境復元協会

多様な生き物と共に暮らす社会を目指し、「身近な自然環境を復元すること」「自然体験を通じた豊かな感性と人間力溢れるヒトが育つ場を提供すること」を使命に、日本国内にて主に3つの事業を行っています。

◆ふるさと未来創造プロジェクト

多くの農村が過疎化などの問題を抱えています。都市と農村を結びつけ協働することで、農山漁村の生態系を豊かにすることや、地域の問題解決と活性化を目指しています。

◆環境再生医制度

環境再生医の資格制度を運営しています。「自然環境」と「自然とヒトの関係」の再生を目指すSDGs視点の環境人材を育成・支援しています。

◆レンジャーズプロジェクト

若手のボランティア希望者が地域の環境保全団体へお手伝いに行く環境保全ボランティアです。ボランティア希望者が環境活動を始めるきっかけを創出し、高齢化や人手不足などで困っている環境保全団体の課題解決を目指します。



(左) 理事長 島村 雅英 様

《SDGs 目標》

2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに
11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を
15 陸の豊かさを守ろう	17 パートナーシップで目標を達成しよう	



認定特定非営利活動法人 パルシク

パルシクは、民際協力とフェアトレードを中心にアジア地域で活動するNGOです。国と国の協力である「国際協力」ではなく、市民と市民との協力を意味する「民際協力」を掲げ、地球上の各地で暮らす人々が国境を越えて直接的に助け合うことを大切にしています。

能登半島地震の被災者に対して、以下の活動を行っています。

◆ちよっこりカフェと交流サロン：被災者のお困りごとを聞き、少しでもホッとした時間を提供するため、避難所で出張カフェを開きました。また、4月以降は仮設住宅などでイベントを開催し、被災して会う機会が少なくなった人々に交流の場を提供しています。

◆生活家電の購入支援：能登町の仮設住宅に入居した方の生活再建を支援するため、生活家電の購入支援を行っています。

◆支援物資の配付：輪島市の重蔵神社で在宅被災者や仮設住宅に暮らす方に食料品などの物資配付を行っています。

加えて、2024年9月21日に発生した能登半島豪雨の被災者への支援も行っています。



(左) 共同代表理事 伊藤 淳子 様

《SDGs 目標》

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	4 質の高い教育をみんなに
5 ジェンダー平等を実現しよう	10 人や国の不平等をなくそう	12 つくる責任 つかう責任
15 陸の豊かさを守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナーシップで目標を達成しよう



「にんしん」をきっかけに、誰もが孤立することなく、自由に幸せに生きることができる社会の実現を目指します



認定NPO法人  
ピッコラーレ

認定特定非営利活動法人 ピッコラーレ

児童虐待による死亡の中で最も多いのは、生まれたその日に命を失うケースです。これは、妊娠の困りごとを誰にも相談できず、一人で抱え込み、社会から孤立したために、母子の安全が守られなかった結果だと考えています。ピッコラーレは、「にんしん」をきっかけに、誰もが孤立することなく、自由に幸せに生きる事ができる社会の実現を目指して、妊娠にまつわる全ての「困った・どうしよう」に寄り添う妊娠葛藤相談窓口「にんしん SOS 東京」や、居所のない若年妊婦が妊娠期を安心して過ごせる居場所「びさら」の運営、地域における包括的性教育の実践「出張ピコの保健室」などの活動を行っています。さらに、相談員のスキルアップを目的とした研修の開催や、「妊娠葛藤白書」(2021年)の制作・発行など、妊婦の孤立を生み出す社会構造の変革を求めて、提言や啓発活動にも積極的に取り組んでいます。



(左) 代表理事 中島 かおり 様

《SDGs 目標》

1 貧困をなくそう	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに
5 ジェンダー平等を実現しよう	10 人や国の不平等をなくそう	

障害者クライミング普及活動を通じて、多様性を認め合えるユニバーサルな社会の実現を目指しています



特定非営利活動法人 モンキーマジック

「見えない壁だって、越えられる。」をコンセプトに、私たちは国内で19年以上にわたり、障害のある子どもや大人を対象としたクライミングスクールや、障害の有無に関係なく楽しめる交流型クライミングイベントの定期的な企画・運営を行っています。また、講演会や体験会も実施しています。クライミングは、障害の有無に関係なく、同じ場所で同じルールのもと楽しむことができるスポーツです。健常者と障害者が「助ける・助けられる」関係ではなく、同じクライミング仲間として互いに理解し、壁を取り払うことで、多様性を認め合う価値ある機会を提供しています。私たちは障害、年齢、性別、文化の違いを超えて、すべての人が社会の一員として支え合い、安心して暮らせる社会を目指しています。それぞれが自分らしく生き、持てる力を発揮して元気に暮らせる環境を作っていきます。



(左) 代表理事 小林 幸一郎 様  
(右) 副代表理事 水谷 理 様

《SDGs 目標》

3 すべての人に健康と福祉を	10 人や国の不平等をなくそう
-------------------	--------------------

※上記7団体は、第24期計算期間にかかる金額を寄付させていただいた団体であり、第25期計算期間以降については、上記団体に寄付を行うとは限りません。

## 朝日ライフ SRI 社会貢献ファンド（愛称：あすのはね）の特色

1. 国内の上場株式を主要投資対象とし、ビジネスを通じて社会的課題に積極的に取り組み、社会に貢献する企業の株式に投資します。
2. 個別企業調査を基本としたボトムアップ・アプローチを重視した銘柄選択を行います。中長期的な視点に立って、価値ある銘柄を安く買い、価値の成熟と株価の上昇を待つ運用を行います。
3. 信託報酬の一部を、社会的課題に取り組む団体に寄付します。（寄付の金額は、ファンドの日々の純資産総額に応じて年 0.1～0.2%の率を乗じて得た額とします。）

## 投資リスク

ファンドは値動きのある有価証券等を投資対象としますので、組入有価証券等の値動きなどの影響により、基準価額が下落することがあります。したがって、投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、これを割り込むことがあります。

ファンドは預貯金と異なります。

信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。

ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「ESG 運用に関するリスク」、「株価変動リスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

## ファンドの費用

### ◆投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額に 3.3%（税抜 3.0%）を上限として販売会社が個別に定める率を乗じて得た額 ※詳しくは、販売会社へお問い合わせください。
信託財産留保額	換金申込受付日の基準価額に 0.3%の率を乗じて得た額

### ◆投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）	ファンドの日々の純資産総額に年 1.958%（税抜 1.78%）の率を乗じて得た額
その他の費用・手数料	以下の費用などがファンドから支払われます。これらの費用は、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。 ・ファンドの監査費用（ファンドの日々の純資産総額に年 0.0055%（税抜 0.005%）の率を乗じて得た額。ただし年 44 万円（税抜 40 万円）を上限とします。） ・有価証券売買時の売買委託手数料 ・先物・オプション取引等に要する費用

※ファンドの費用（手数料等）の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。



左記 QR コードをクリック、または読み取りにより、  
当社ホームページのファンド情報をご覧ください。

■本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント(以下、「当社」といいます。))が、「朝日ライフ SRI 社会貢献ファンド(愛称:あすのはね)」に関する情報提供を目的として作成したものであり、特定の有価証券の勧誘を目的としたものではありません。また、法令に基づく開示資料ではありません。■ファンドは価額変動リスクや流動性リスク等を伴う証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。))ので、市場環境等によって基準価額は変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。■本資料は当社が信頼できると判断した情報を元に、十分な注意を払い作成しておりますが、当社はその正確性や完全性をお約束するものではありません。■本資料に記載されている内容は、今後予告なしに変更することがあります。■ファンドの取得の申し込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ず内容について確認の上、お客様ご自身でご判断ください。■ファンドは、金融機関の預金または保険契約ではありませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合は、投資者保護基金による支払いの対象にはなりません。2024-11-100